

# JEITA 環境フォーラム2014

## —地球環境対策と企業の貢献—

地球温暖化防止に向けて、これまで国際的な交渉や対策が行われてきていますが、国連気候変動に関する政府間パネル(IPCC)報告書では、このままでは人間の生存や地球の生態系に深刻な悪影響をもたらすと、深刻さを一段と強調しています。このような中、各国の環境規制に対する対応、環境対策や社会的貢献など、企業活動における社会的責任は益々大きくなっています。

電子情報技術産業協会(JEITA)では、関連機関、関連団体とも協力しながら、温暖化防止に向けた取り組み、各国の環境規制対応等、環境問題に対する活動を積極的に実施しております。

今回はCEATECに合わせて一般公開のフォーラムとして開催し、環境事業戦略が、企業活動の事業・経営に欠かせない重要なキーワードであることを、様々な分野で活躍されている有識者のご講演を通じて改めて共有するとともに温暖化対策に貢献できる企業の情報を発信していきたいと思っております。企業の経営に携わる方のみならず、環境問題にご関心をお持ちの方は、是非この機会にご参加頂き、環境ビジネスの立案等にお役立て頂けますようご案内致します。

日 時： 平成26年10月8日(水) 14:00~17:00(13:30会場)

場 所： 幕張メッセ国際会議場 302会議室  
千葉市美浜区中瀬2-1 地図 <http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>

主 催： 一般社団法人 電子情報技術産業協会 環境委員会

定 員： 100名(定員になり次第締め切ります)

参加費： 無料(ただし、事前申し込み制となります)

申込方法 「CEATEC JAPAN 2014」のサイトからお申し込み下さい。  
<http://eventregist.com/e/ceatec2014>

事務局 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階  
(社)電子情報技術産業協会 環境部 TEL 03-5218-1054 FAX 03-5218-1073

司 会 田代 孝尋 環境運営委員会 副委員長(横河電機㈱ 経営監査本部CSR部環境・安全推進課長)

## Program

14:00~14:45	<b>気候変動枠組条約締約国会議に向けた取り組み</b> 田尻 貴裕 氏 経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 地球環境対策室長	気候変動が世界全体で取り組むべき課題となる中、日本はイノベーションの加速、JCMの推進等、攻めの地球温暖化外交戦略を打ち出し、国際交渉に臨んできた。2020年以降の「全ての国が参加する公平かつ実効性のある国際枠組み」の構築に向け、今後の国際交渉や日本の取組等について紹介する。
14:45~15:30	<b>温暖化対策のための技術政策のあり方</b> ~IPCCの知見を踏まえて~ 杉山 大志 氏 気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 統括執筆責任者/(-財)電力中央研究所 上席研究員	温暖化問題の解決には技術進歩が鍵となる。講演者が日本唯一の統括執筆責任者としてとりまとめに参加したIPCCの排出削減策の報告書の内容を踏まえつつ、日本の技術政策のあり方を論じる。研究開発、実証、普及の各段階に応じた適切な政府介入と、安定した経済成長のもとで日本の産業蓄積を活かした科学技術全般の進歩を図ることがカギとなる。
15:30~16:15	<b>電機・電子機器における国際標準化の概要</b> ~グローバルビジネスに影響を与える環境標準規格の方向性~ 市川 芳明 氏 IEC TC111 国際議長 ㈱日立製作所 知的財産権本部国際標準化推進室 主管技師長	世界共通の環境ルール作りは、グローバルビジネスにとって重要な交渉の場でもある。TC111では、化学物質管理/測定、環境配慮設計、温室効果ガス、資源効率などに関する標準化を行っている。11月にIEC TC111東京会議を控え、TC111における進捗概要と、議論の方向性について紹介する。
16:15~17:00	<b>ミドリムシを活用した新産業の可能性について</b> ~エネルギーから食糧問題まで~ 鈴木 健吾 氏 ㈱ユーグレナ取締役 研究開発部長	㈱ユーグレナは、藻のミドリムシを利用した事業を5つの分野(Food(食料)、Fiber(繊維)、Feed(飼料)、Fertilizer(肥料)、Fuel(燃料))へ展開していく戦略を描いている。ミドリムシで、世界中の食料問題の解決に挑んでいる一方で、ミドリムシによるバイオ燃料の開発も進めている。民間から発信するサステナブルな社会形成推進に向けて今後の展望について紹介する。